

2025年2月3日

都道府県協会 各位
加盟クラブ 各位

公益財団法人 日本ライフセービング協会
(事務連絡)

専門委員会・専門室 委員公募のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃よりJLAの諸事業に対しまして多大なるご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。
つきましては、標記の件において、下記の通り専門委員会・専門室の委員についての募集要項をJLAホームページにアップいたしますのでご案内申し上げます。

敬 具

記

公募する専門委員会・専門室は以下の通りです。

- ① サーフライフセービング委員会
- ② プールライフガーディング委員会
- ③ ジュニアエデュケーション委員会
- ④ 学校教育推進委員会
- ⑤ 地域教育推進委員会
- ⑥ パトロール・レスキュー委員会
- ⑦ ドローンパトロール委員会
- ⑧ サーフトレーニング委員会
- ⑨ 救急蘇生委員会
- ⑩ アスリート委員会
- ⑪ アンチ・ドーピング委員会
- ⑫ 競技審判委員会
- ⑬ 国際室

以上

【お問い合わせ】

〒105-0022 東京都港区海岸 2-1-16 鈴与浜松町ビル 7F
公益財団法人 日本ライフセービング協会
電話 03 (6381) 7597 (12:00~18:00)
メール info@jla.gr.jp



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

専門委員会・専門室 委員公募のお知らせ

1. はじめに

公益財団法人日本ライフセービング協会（JLA）では、加盟団体に登録されているみなさまのご意見や各地域のご要望をより反映した運営を実施するために、各専門委員会等にご協力いただける委員の公募を実施致しております。みなさまからのご応募をお待ちしております。

2. 公募する専門委員会・専門室

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① サーフライフセービング委員会 | ⑧ サーフトレーニング委員会 |
| ② プールライフガーディング委員会 | ⑨ 救急蘇生委員会 |
| ③ ジュニアエデュケーション委員会 | ⑩ アスリート委員会 |
| ④ 学校教育推進委員会 | ⑪ アンチ・ドーピング委員会 |
| ⑤ 地域教育推進委員会 | ⑫ 競技審判委員会 |
| ⑥ パトロール・レスキュー委員会 | ⑬ 国際室 |
| ⑦ ドローンパトロール委員会 | |

3. 任 期 委員任命日（2025年4月）～2027年3月31日（2年間）

4. 募集人員 委員会ごとに記載あり

5. 募集期間 2025年2月3日（月）～2025年3月7日（金）18:00まで

6. 申込方法 Google フォームからのお申込みとなります。
下記 URL または QR コードからエントリーしてください。
URL : <https://forms.gle/1ZMhMyuL8wjripKH8>



7. 承 諾 加盟クラブに所属している方は、代表者の承認を得てからお申し込みください。

8. 選考方法 申込内容、経験及び地域性などを考慮して選考し、応募者に通知します。
必要に応じて面接または、電話・メール等によって申込内容の確認を行う場合があります。

9. 旅費日当 会議又は事業実施の際に、会議日当及び実費交通費を支給いたします。
(JLA 専門委員等の謝金並びに費用に関する規程に準ずる)

10. 解 任 3ヶ月程度の活動実績(メール返信含む)が無い方については、解任される場合があります。

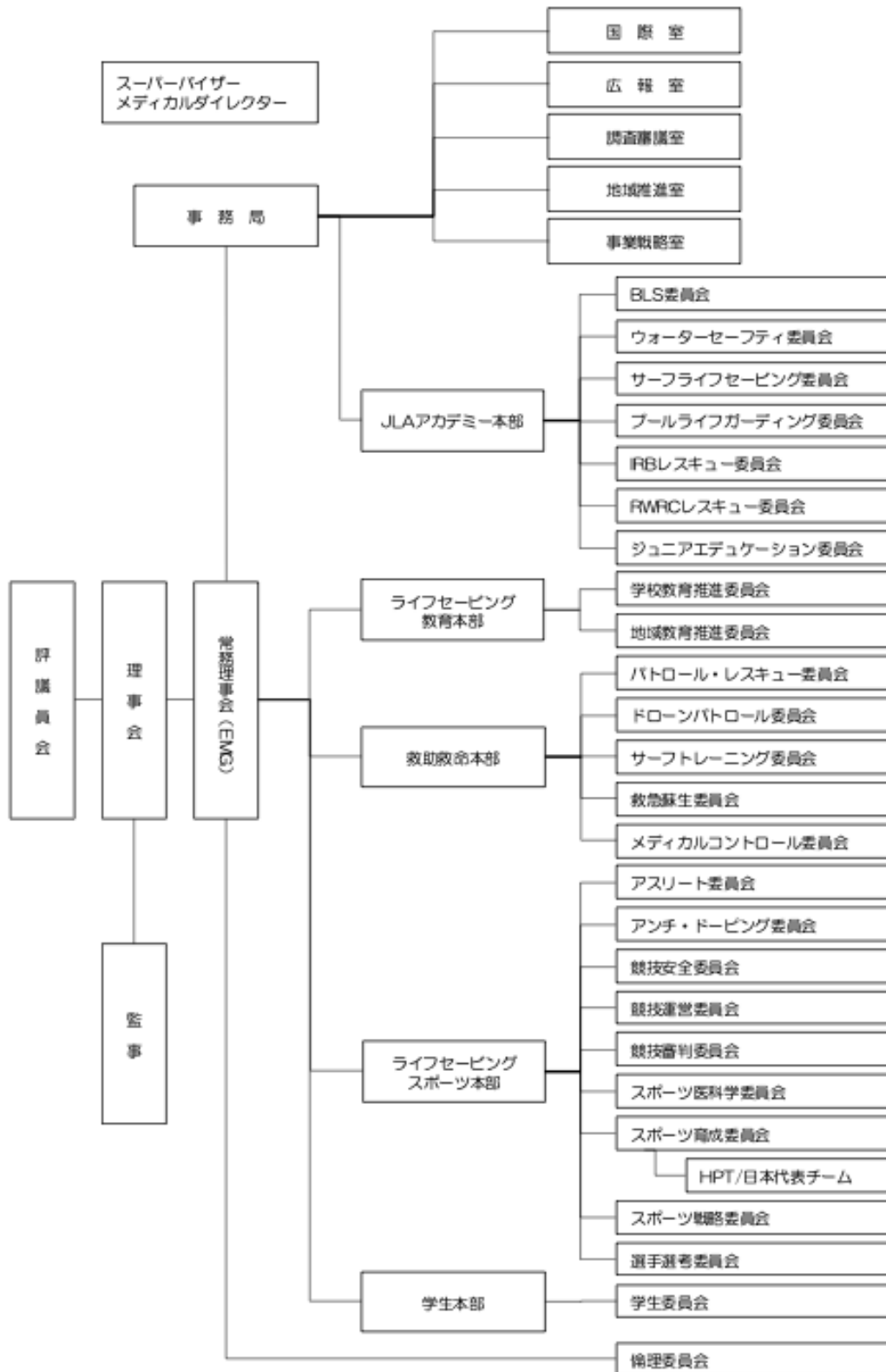
11. 問合せ先 <JLA 事務局>

住 所：〒105-0022 東京都港区海岸 2-1-16 鈴与浜松町ビル 7F

電 話：03-6381-7597（12：00～18：00）

メール：info@jla.gr.jp

資料：2025-2026 年度 専門委員会及び専門室の編成案



- ① サーフライフセービング委員会
- ② プールライフガーディング委員会
- ③ ジュニアエデュケーション委員会

※BLS、ウォーターセーフティ、IRB レスキュー、PWRC レスキュー委員会の公募はありません

【 概 要 】

JLA アカデミーでは、資格別に委員会を設置し、各資格の講習カリキュラムの改変・作成、指導方法の確立、指導員のレベルアップ及び育成、テキストや指導要項など関連資料の作成などを行っています。各委員会にはアカデミー本部で選出した委員長を配置し、その委員長を中心に、各資格に応じた課題解決を図るため活動しています。

【 活動内容 】

年数回の委員会会議開催、指導員育成講習会（年数回、全国各地）の企画及び指導、関連資料の作成を行います。各委員会の主な活動及び課題は、[別添 1.]をご覧ください。

【 応募条件 】

- 保有資格：
 - ・ 当該委員会のインストラクターを保有していること。なお 2 回以上更新していない場合、指導員養成講習会には指導員として参加できない。
 - ・ 当該委員会の課題に対して専門的な知識を有する場合は、アシスタントインストラクター資格でも選考する場合があります。
- 基本的な PC スキル（ワード、エクセル、パワーポイントなど）があること。
- ZOOM 等のリモート会議、メールやクラウド上でのファイル管理を頻繁に行う為、PC 含むネットワーク環境を所有していること。（JLA からの PC 貸与はありません）
- JLA アカデミー指導員規程に則り、全指導員の規範となり、当該資格のレベル向上、普及に貢献する強い意志があること。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、当該委員会の委員長が選考し、アカデミー本部長、副本部長が承認します。
- 当該委員会の委員長が指名した委員（前年度委員含む）に関しては、公募委員とは別に選考し、アカデミー本部長、副本部長が承認します。
- 各委員会の構成人数は 5 名前後（委員長を除く）とし、継続する委員を除いた人数を募集します。よって各委員会ともに数名程度の募集となります。
- アカデミー本部の管轄する委員会および他本部や専門室の委員会との兼任を妨げるものではありませんが、定員を超過した場合は兼任していない方を優先して採用いたします。
- 委員の人数は若干名となります。

[別添 1.]

● JLA アカデミー本部（本部業務の紹介として掲載）

- 2025 年度の主な活動及び課題
 - ・ 指導員および講習会の質の向上に向けての取り組み
 - ・ 指導員養成講習会の開催
 - ・ 指導員資格更新講習会の開催

- ・ 資格更新率向上に対する取り組み
- ・ 復活講習会の開催拡充による資格失効者の呼び戻し強化
- ・ IRB、PWRC 資格の ILS 認証

● サーフライフセービング委員会

- 2025 年度の主な活動及び課題
 - ・ 教本の改訂に伴う補助教材作成。指導要領・検定要領・指導関連資料の改正にともなう検証作業
 - ・ 教本、指導補助資料に必要な写真、動画撮影作成及び編集
 - ・ 全国各地での指導員養成講習会の企画・運営および関連資料の再構築
 - ・ JLA アカデミーに関わる他本部関連事業（シミュレーション審査会等）への参加

● プールライフガーディング委員会

- 2025 年度の主な活動及び課題
 - ・ 教本の改訂および指導要領・検定要領・指導関連資料の改正
 - ・ 「海なし県」に対する PLG 講習の普及・啓発
 - ・ プール監視業務に係る諸団体・企業との協調活動
 - ・ PLG 教育の普及啓発のための調査、提言
 - ・ 指導員養成講習会の企画・運営

● ジュニアエデュケーション委員会

- 2025 年度の主な活動及び課題
 - ・ リーダー講習会テキストの改訂
 - ・ ジュニアライフセービングバッジテスト制度の普及と運用
 - ・ ジュニア資格（リーダーおよび指導員）対象スキルアップ研修会の開催
 - ・ 各地での指導員養成講習会の企画・運営

④ 学校教育推進委員会

【 概 要 】

学校教育へのライフセービング導入は、ウォーターセーフティ、BLS、スポーツ、環境、防災等、様々です。学齢、住んでいる地域、教育環境等に合わせた授業実践と、それらを提供しやすい仕組みづくりを考案していきます。その上で『e-Lifesaving』と実技教育の融合を目指したカリキュラム構築と展開を目指します。

【 活動内容 】

- 事業を進めるためには、メールや Web 会議が中心となります。
- 教育委員会や学校への直接協議（授業展開への提案、教育実践等）を促進していきます。
- 実践した教育内容の調査分析、報告書を作成します。またそれらをライフセーバーや教員の指導活用に向けた発信、研修を行います。
- e-Lifesaving の更なる充実と全国展開を目指します。

【 応募条件 】

- インストラクター又はアシスタントインストラクターを所有していること（コース不問）。もしくは近い将来それを目指す志のある方。
- ジュニア・ライフセービング教育や学校教育などへの現場経験があり、JLA グランドデザインへの具体的な原動力となり、ご尽力いただける方。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選考しライフセービング 教育本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑤ 地域教育推進委員会

【 概 要 】

ジュニア・ライフセービング教育の実施拡大を目指すために、器材支援や具体的な教育支援を行っていきます。地域クラブにおける継続的なジュニア活動は、水辺の楽しさを通じて事故防止の知識と技能を定着させるために重要です。ウォーターセーフティ、BLS、スポーツ、環境、そして防災教育を各年齢期で横断的に学べるフレームワーク作りを目指します。

【 活動内容 】

- 事業を着実に進めるためには、メールや Web 会議が中心となります。
- 何を、どこに、どのように支援したら「0が1」になるかを協議し、現場視察や対話を重視しながら、有益な支援を検討・展開していきます。
- ジュニア・ライフセービング教育の魅力と可能性についての情報発信、研修を展開し、年間を通じた継続的活動への支援を行います。
- e-Lifesaving の更なる充実と全国展開を目指します。

【 応募条件 】

- インストラクター又はアシスタントインストラクターを所有していること（コース不問）。もしくは近い将来それを目指す志のある方。
- ジュニア・ライフセービング教育や学校教育などへの現場経験があり、JLA アクションプランへの具体的な原動力となり、ご尽力いただける方。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選考しライフセービング 教育本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑥ パトロール・レスキュー委員会

【 概 要 】

ライフセーバーに必要なパトロールスキル及びレスキュースキルの向上に関する活動、公的救助機関との連携促進に関する活動を行います。

【 活動内容 】

1. 委員会基本事業

- シミュレーション審査会の企画運営
- 事例検討会の企画運営
- レスキューミーティングの企画運営
- パトロールユニフォームやライフセーバーの使用する各種資器材に関すること
- パトロール及びレスキューに関連するガイドライン等作成
- スイフトウォーターレスキューに関すること
- 海水浴場ヒアリング調査
- 惨事ストレス対策に関すること
- その他パトロールに関連する必要な事業

2. 消防諸機関に対して IRB を活用した監視・救助・救護等の安全管理のための知識や技術の普及, IRB に関する整備会の企画運営

- IRB 教本の作成・出版
- IRB を含む動力船を活用した他スポーツ団体の監視救助活動の受託業務
- IRB を活用した大規模自然災害派遣にかかわる企画運営

3. 要介護者スイミング支援に関すること

- 要介護者スイミング支援事業含む

4. 津波防災に関すること

- 津波対策に関するガイドラインの作成
- 津波避難訓練サポートの実施

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者（サーフ又はプール指導員資格保持者が望ましい）。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- 所属クラブや学校、職場等で事業の企画、運営、予算作成などの実務に携わった経験がある方で、基本的な PC スキルのある方（Word、Excel、PowerPoint）。
- 会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 上記の活動内容ごと、もしくは複数の活動内容を希望し、具体的な活動プラン（提案）を有する方。
- JLA 専門委員会での活動実績を有する方。

- 上記活動内容 2.に関しては、IRB に関する事業に興味があり、率先して器材及び知識の維持管理に取り組める方（IRB 指導員資格保持者が望ましい）。

【 選考方法 】

- 応募される方は、当委員会の活動内容の中で、活動希望の番号を応募フォームに記入しエントリーしてください。複数希望可。
- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し救助救命本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑦ ドローンパトロール委員会

【 概 要 】

ライフセーバーに必要なドローンパトロールに関する知識や技術の向上に関する活動、関係行政との連携促進に関する活動を行います。

【 活動内容 】

- ドローンパトロールを数海岸にて試験運用
- サーフライフセービングオーストラリアの新しい技術提供
- 他機関との連携
- ドローンパトロール研修会の開催
- ドローンパトロール審査会の企画運営
- ドローンパトロールの活動地域への派遣

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- 所属クラブや学校、職場等で各種事業の企画・運営・予算作成に携わった経験がある方で、基本的な PC スキルのある方（Word、Excel、PowerPoint）。
- 必要に応じ開催される、会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- ドローンパトロールに関する事業に興味があり率先して器材及び知識の維持管理向上に取り組める方。

【 選考方法 】

- JLA 全体に対し、委員会・分科会の運営を円滑並びにバランスが取れた状態にするため、応募者の実績、課題に対する適応性、地域性、他の JLA 委員・分科会委嘱の有無についても考慮して、委員長が選任し救助救命本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑧ サーフトレーニング委員会

【 概 要 】

ライフセーバーのサーフトレーニングに関する知識や技術、リスク管理の指導および助言を行います。委員は委員会が企画運営するサーフトレーニングクリニック（海でのトレーニング方法やリスク管理）のコーチとして活動します。

【 活動内容 】

- サーフトレーニングクリニックの企画運営（年数回，各地域で開催）
- 海でのトレーニングやリスク管理に関するガイドライン等作成

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。（インストラクターが望ましい）
- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- サーフトレーニングに十分な経験を有しサーフスキルが高い方（自己判断）。
- 会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 委員会の概要や活動内容を理解し、積極的に関わられる方。
- ライフセーバーとしての活動実績。
- 競技会等におけるアスリートとしての活動実績。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し、救助救命本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑨ 救急蘇生委員会

【 概 要 】

ライフセーバーによる CPR や応急手当に関する知識や技能に関するデータのとりまとめを行います。

【 活動内容 】

- レスキューレポートの集計，分析
- メディカルステートメントの作成補助

【 応募条件 】

必須条件（下記すべての条件を満たしている方）

- 認定ライフセーバー以上の資格保有者。

- 海水浴場等でのライフセービングの活動実績を有する者（応募時にこれまでの水浴場監視業務活動年数を記載してください）。
- 会議（オンライン含む）への参加やメール、LINE、電話等で各委員とのコミュニケーション・レスポンスが円滑に図れる方。

選考条件

- 委員会の概要や活動内容を理解し、積極的に関わられる方。
- ライフセーバーとしての活動実績。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、委員長が選任し、救助救命本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑩ アスリート委員会

【 概 要 】

ライフセービング競技会開催に伴って、各大会実行委員会や運営に参加し、選手代表として競技者の思いや、考えを加えた大会実施の提議を行います。また、選手の規律や規範を保つことの出来るルール作りや、幅広い選手層へのモチベーション、競技力の向上、他のスポーツ団体や企業との連携強化などを行います。

【 活動内容 】

- ライフセービング競技会 各実行委員会への参加
- 選手の規律や規範に関わるルール作り
- 選手の意欲・競技力向上を期待するイベント協力、開催
- 他のスポーツ団体・企業との連携強化 他

【 応募条件 】

- 都道府県ライフセービング協会または加盟クラブに所属していること。
- 保有資格：JLA 認定ライフセーバー資格を所有していること。
- 年齢が 18 才以上で、かつ、JLA 選手登録者のうち、JLA 主催競技会に過去 5 年以内の出場経験がある者（ジュニアユース担当を除く）。
- 地域クラブまたは学校においてジュニアユースの育成に携わっている者（ジュニアユース担当に限る）。

選考条件

- 委員会の概要や活動内容を理解し、積極的に関わられる方。
- アスリートとしての活動実績（ジュニアユース担当を除く）
- ジュニアユースの育成実績（ジュニアユース担当に限る）

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性、性別や競技・種別等のバランスを考慮して、担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。
- 委員の人数は若干名となります。

⑪ アンチ・ドーピング委員会

【 概 要 】

クリーンスポーツの推進およびアンチ・ドーピング活動の普及を目的とし、アンチ・ドーピング委員会の委員を公募いたします。

【 活動内容 】

- ハイパフォーマンスチーム（HPT）におけるアンチ・ドーピング教育
- 一般ライフセーバーへのアンチ・ドーピング講義の実施
- Zoom 等のリモート会議ツールを使用できること
- TUE（治療使用特例）申請の補助
- ライフセービング競技大会でのアウトリーチプログラム（教育啓発ブースの運営）
- 各クラブチームへの出張アンチ・ドーピング講義
- JLA 公式ホームページへのアンチ・ドーピングコラム執筆
- ライフセービング競技大会でのドーピング検査運営事業への関与

【 応募条件 】

- アンチ・ドーピングに関する基礎知識を有すること（または学ぶ意欲があること）
- 基本的な PC スキル（Word、Excel、PowerPoint など）を有すること
- Zoom 等のリモート会議ツールを使用できること
- クリーンスポーツの推進に意欲を持ち、教育・啓発活動に積極的に関与できること
- JLA のアンチ・ドーピング方針に賛同し、活動に貢献できること

【 選考条件 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して選考を行います。
- アンチ・ドーピング活動の実施経験がある方、講義やアウトリーチプログラムへの参加経験がある方を優先します。
- アンチ・ドーピング教育や講義の実施経験がある方を優先します。
- 医療従事者（薬剤師、医師、トレーナー等）および教育者で、アンチ・ドーピングの専門知識を有する方を優先します。

【 選考方法 】

- 提出された応募内容をもとに担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。
- 専門委員の人数は若干名となります。

⑫ 競技審判委員会

【 概 要 】

より良い競技運営を目指し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境、審判員が活動しやすい環境を作るために、一緒に尽力してくださるかたを求めています。

【 活動内容 】

1.委員会基本事業

- JLA 主催各公式競技会の進行
- 競技会運営方法の改善検討
- 審判員制度の改善検討
- C 級審判員養成講習会の企画・運営
- 審判員研修会の企画・運営
- コンペティションキャップ登録・管理
- 競技規則の更新
- 審判員活動履歴の管理
- 競技器材の諸調整

2.日本語版競技規則の更新に向けた運営

- 日本語版競技規則の更新に係る活動
- 通年の活動ではなく業務がある時に稼働

【 応募条件 】

必須条件

- IT スキル/IT 環境マイクロソフト Word で文書作成/編集ができる方。
- 電子メール, LINE で連絡のとれる方。
- Zoom 等の遠隔会議に参加できるネット環境をご自身でお持ちのかた。(JLA からの PC 貸与はありません)

活動内容 1 選考条件

- JLA 主催の大会へ、半分以上参加できる方
- 都道府県ライフセービング協会または加盟クラブに所属していること。但し、未成年及び学生は不可となります。
- 競技規則改善の議論に興味がある方
- 保有資格：下記 JLA 認定資格の両方を取得している方。
 - ・ JLA 認定 BLS 資格
 - ・ JLA 認定審判員資格

活動内容 2 選考条件

- (英語レベル)高校生レベルの英語が読解できる方。例えば、わからない単語は辞書で調べつつ読解ができれば、英作文や英会話までできなくても良い。
- (日本語レベル) 論説文/ビジネス文書のような筋の通った日本語作文ができる方。また、自動翻訳した日本語文を読んで、うまく翻訳で来てない箇所を修正したり、ライフセービング競技の視点から訳文を修正したりできる方。
- (競技レベル) ライフセービング競技内容がある程度イメージできる方。例えば、競技者/審判員/スタッフなどの経験があって、競技規則に書かれていることが実際の競技の場でどのような動きになるのかイメージできる方、もしくは、正確にイメージできずとも想像を巡らせることができる方。

【 選考方法 】

- 応募者の実績、課題に対する適応性、地域性を考慮して、担当委員長が選考し、スポーツ本部長、副本部長が承認します。
- 専門委員の人数は若干名となります。

⑬ 国際室

【 概 要 】

各種翻訳、通訳、企画のコーディネートその他、国際室の広報室委員としてJLAの広報事業に携わっていただける方を募集します。

【 活動内容 】

- 年間に3~4回のミーティングを実施します。
- ILS及び各国からの書類等の翻訳作業が多くなります。
- 将来的には国際大会の選手エントリー準備、通訳としての会議帯同の可能性もあります。
- 国際室の広報委員として広報事業の仕事を担当してもらいます。
- JLAの事業に対する語学的サポートの他、JLA事業に対してさまざまな側面からクリエイティブな活動をしていきます。

【 応募条件 】

- 英語で読み書き、会話ができる方。もしくは英語に対して向上心がある方。応募申込の経歴のところに海外経験、英語の資格があれば記載ください。
- 基本的なPCスキル（ワード、エクセル、パワーポイントなど）があること。
- ZOOMなどでのリモート会議、メールやドロップボックスでのファイルのやり取りを頻繁に行う為、PC含むネットワーク環境を所有していること。LINEグループでのコミュニケーションができること。（JLAからのPC貸与はありません）
- 広報業務に関するSNS等の立案、作成、配信等ができること。

【 選考方法 】

- 応募者のライフセービングに対する取り組みや意識、英語に対する向上心をみて、室長が選考します。
- 若干名の募集となります。

以上